“造船産業クラスターの中核拠点”と“造船文化の拠点都市”目指す

「尾道市造船産業振興ビジョン」

尾道市は2012年3月、「尾道市造船産業振興ビジョン」を策定した。尾道市の基幹産業である造船業・舶用工業の競争力を将来にわたり確保し、市の経済発展を継続的に支える産業として維持・発展させることが目的。市の造船産業の将来像として、「持続的で競争力のある造船産業クラスターの中核拠点」と「造船文化の拠点都市」を挙げ、これまで以上に官民一体となって取り組みを進めていくことを示した。

造船業を取り巻く環境の変化を受け、尾道市は2011年10月、官民による検討委員会を立ち上げた。公式の調査データの分析や、市内各事業者へのアンケートを基にまとめたのが「尾道市造船産業振興ビジョン」だ。

同ビジョンによると尾道市の産業構造を就業者数から見ると、造船業が属する第2次産業では32.9%を占めており、広島県全体と比べても高い割合。造船業が属する製造業は、尾道市の第2次産業全体の約7割を占め、市の重要な基幹産業となっている事がわかった。

事業所数で見ると、造船業が属する輸送用機械器具製造業は2006年90カ所から2010年75カ所と減少。尾道市でも20.5%から18.2%に減少した。従業員数で見ると、尾道市の製造業では06年12万8000人から2010年13万6000人に増加した。しかし輸送用機械器具製造業では34.1%から31.2%に減少。「事業所数を上回る水準で造船業の従業員数の減少が進んでいる」とした。

尾道市の造船業の年間生産額（2008年）は、約1860億円（造船業は約1100億円、舶用工業は約760億円）と、尾道市全体の約3割、輸送用機械器具製造業の大半を占めていた。尾道市の造船業の生産活動による県内生産誘発額は約1410億円と推計。生産誘発額は、県内における原材料・部品・事業所サービスなどへの生産波及と、雇用者所得増がもたらす消費財産業と関連の原材料・部品・事業所サービスなどにおける生産波及を足したもの。生産誘発額の数字により、県内の船舶・同修理や鋼材をはじめ広く産業全般に波及していることがわかった。以上により、尾道市の造船産業の県内への総効果は約3270億円と推計した。

同様に、県内生産誘発額（約1410億円）のうち尾道市内の生産誘発額を推計すると、産業別の出荷額や従業員数などの県内シェアに基づき、約210億円、尾道市の造船業の尾道市内総効果は約2070億円と推計できた。

また尾道市の造船業が第3次産業と、どう関わるかを分析。県内の生産誘発額（約1410億円）のうち第3次産業への波及は約670億円、尾道市内の生産誘発額（約210億円）のうち第3次産業への波及は約100億円となり、それぞれ生産誘発額の約5割を占めた。特に造船業に関わりの大きい第3次産業は、金融・保険、卸売をはじめ、財務・会計など対事務所サービス、小売、研究、道路輸送、物品賃貸サービス、自動車・機械修理などとなっている。これらから尾道市にとって造船業が大きな産業であることがわかり、尾道市の造船業の将来像として「持続的で競争力のある造船産業クラスターの中核拠点」と「造船文化の拠点都市」の2点を挙げた。

尾道市は各事業者にアンケートやヒアリングを実施し、尾道市の造船業が直面する課題7点を抽出した。それは、①造船施設の強化による受注機会の拡大②コスト削減や合理化による競争力の強化③新市場開拓・新分野開拓による競争力の強化④研究開発の推進による付加価値の向上⑤企業間の連携による総合力の発揮⑥持続的な技術者・技能者の確保・定着・育成⑦地域との共存共栄―だった。

課題7点を踏まえ、先に挙げた尾道市の将来像を実現するために解決策をまとめたのが次ページの表だ。

造船産業クラスターの中核拠点を実現するためとして、「生産環境と物流環境の両面を高度に改善して競争力を強化していくとともに、企業間などの連携強化により高い信頼性や技術力といった付加価値を向上させていく」ことを挙げ、造船文化の拠点都市を実現するためには、「海事都市尾道における産業振興の基盤としての地域力の強化を図る」とした。尾道市は同ビジョンを基に官民一体の取り組みを推進していく方針だ。

尾道市の造船産業を取り巻く課題の解決策と具体的な推進案

「持続的で競争力のある造船産業クラスターの中核拠点」を実現するために…

競争力の強化 生産物流環境の改善による	生産基盤の効率化・能力増強	計画的な生産基盤の高度化	造船産業	必要な生産基盤の精査
				必要な生産基盤の確保
			尾道市	民間埋立事業の支援
				規制緩和の要請の検討
				インフラ基盤の充実の要請
	海と架橋を活用したサプライチェーンの強化	内航海運の機能強化	造船産業	積み出し機能の強化
			尾道市	内航海運船員の確保・育成の支援
		港湾整備の推進	造船産業	関係機関への要望
			尾道市	港湾施設の整備・計画の要望
		瀬戸内海沿岸の道路改良の推進	造船産業	関係機関への要望（本四架橋料金値下げ）
			尾道市	道路改良事業の推進・促進

連携強化による付加価値の向上	研究開発力の強化による付加価値の向上	高機能スペックの開発	造船産業	海運業界や大学等との共同研究
			尾道市	マッチング機会の創出
				先進事例・各種制度の情報発信
		生産技術・生産設備の高度化	造船産業	事業統合・アライアンスの検討
			尾道市	マッチング機会の創出
				臨海部産業用地確保の支援
	安全対策の強化による付加価値の向上	事故防止マニュアル、講座の開設	造船産業	マニュアル作成、講座開設
			尾道市	因島技術センターを活用した安全対策強化支援
		体験的安全研修施設の充実と利用促進	造船産業	安全研修センターの充実と利用推進
			尾道市	因島技術センターを活用した安全対策強化支援
	人的ネットワークの強化による付加価値の向上	造船産業の人的交流や販売促進	造船産業	企業間での勉強会・研究会の開催
				コンベンション事業への参加
			尾道市	勉強会・研究会の開催支援
				コンベンション事業を活用したPR支援
		因島技術センターの人材供給機能の強化	造船産業	因島技術センターの機能強化支援
			尾道市	因島技術センターの機能強化支援

「造船文化の拠点都市」を実現するために…

海事都市尾道を支える地域力の強化	教育との連携による地域力の強化	造船・海運資料図書の充実・発信	造船産業	取材協力や資料等の提供
			尾道市	資料図書の充実
				海事都市尾道ホームページによる発信
		海事思想の啓発	造船産業	インターンシップの充実
			尾道市	歴史・文化講座・洋上セミナーの実施
				海事学習会の実施
				海の学校講座の支援
				キャリア教育の推進
	地域と一体となった地域力の強化	造船のまちづくり	造船産業	工場見学や進水式等の一般公開
				外国人実習生の地域参加
			尾道市	地域交流の場づくり
				若者が定住するまちづくりの推進
	観光振興と一体となった地域力の強化	造船資源を活かした産業観光化	造船産業	産業遺産のエスコーターの育成
				旅客船協会等との連携
			尾道市	産業観光コース等の設定支援
				旅客船利用促進事業支援